

清水万由子 *Shimizu Mayuko*

# 「公害地域再生」 とは何か

大阪・西淀川「あおぞら財団」の軌跡と未来

あおぞら財団  
の実績を  
本格的に分析した  
初めての一冊

個人の「被害補償」の先にある

## 真の「地域再生」に挑んできた 先駆的活動の全体像！

健康・社会・環境の全てを侵す「公害」被害の本質を見据え、  
公害訴訟の和解金を、「まち」そのものの再生に投入するという  
画期的発想から立ち上げられた「あおぞら財団」。

多くの内部資料を駆使して、その軌跡を初めて詳細に描く。

藤原書店

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 523  
TEL 03-5272-0301 / FAX 03-5272-0450  
<https://www.fujiwara-shoten.co.jp/>

●定価 = 本体4200円 + 税  
A5判並製 296頁・カラー口絵4頁  
ISBN978-4-86578-450-3







エコミュージズ開館 (2006年)

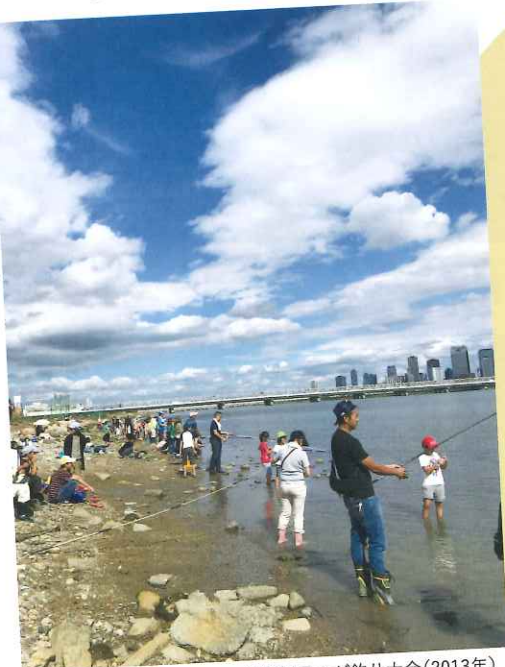


廃油キャンドルナイト in NY (2013年)

国道43号の環境ロードプライシングの看板



大野川緑陰道路 (2000年)



淀川親子ハゼ釣り大会 (2013年)

(写真はすべて公害地域再生センター提供)

本書は、大阪市西淀川区で、公害訴訟を契機に誕生した「あおぞら財団」の活動を通して、公害地域再生＝「公害を起こさないまちをつくる」という挑戦が続けられてきた軌跡を描くものである。

今年で設立から30年目を迎えるその軌跡をたどりながら、激甚な公害を経験した地域がどこまで再生を遂げたのか、その到達点と残されている課題、またそれがどのようにして前進してきたかを描き、進むべき方向性を示すことが、本書のねらいである。

小さな地域の経験から、公害を起こした社会が、公害を起こさない社会へと変革する道筋——その困難さも含めて——を浮かび上がらせたい。

(本書「はじめに」より)



公害地域再生シンポジウム (1996年)



交通まちづくり意見交換会 (2009年)

## 目次

はじめに

序章 「公害のまち」から「公害を起こさないまち」へ

第1章 公害地域再生論の枠組み——対象・主体・継承

第2章 公害地域再生の理念と構想

第3章 あおぞら財団の26年——事業構成と財政から

第4章 五つの事業部門——実践から何が見えるか

第5章 公害地域再生に向かう軌跡

終章 西淀川からの公害地域再生論

あとがき

本書関連年表 (1925-2022) / インタビュー調査記録 / 参考文献  
地名・事項索引 / 主要人名索引

## 清水万由子 (しみず・まゆこ)

1980年生まれ。龍谷大学政策学部教授。

京都大学大学院地球環境学舎博士課程修了、博士(地球環境学)。長野大学博士号取得研究員、総合地球環境学研究所特任助教、龍谷大学政策学部講師、同准教授を経て、2024年4月より現職。

主な著作に、『公害の経験を未来につなぐ——教育・フォーラム・アーカイブズを通じた公害資料館の挑戦』(林美帆・除本理史との共編著、ナカニシヤ出版、2023年)、*Environmental Pollution and Community Rebuilding in Modern Japan* (Co-edited author with Yokemoto, M., M. Hayashi and K. Fujiyoshi, Springer, 2023)、『シリーズ講座環境社会学 1 なぜ公害は続くのか——潜在・散在・長期化する被害』(藤川賢・友澤悠季編、新泉社、2023年)他。



◎注文書 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町523 藤原書店 TEL 03-5272-0301 / FAX 03-5272-0450 info@fujiwara-shoten.co.jp  
ご注文は、お近くの御便利な小売書店で、またはインターネット書店等をお願い致します

■注文 『「公害地域再生」とは何か』 ( ) 冊 ◇978-4-86578-450-3

お申込み書店(帳合・番線)

■お名前

■ご住所(郵便番号)

■お電話番号

■FAX番号/メールアドレス